

梅だより

～午後のひととき～

LIBRARY

SHOKEI GAKUIN COLLEGE

図書館広報誌 2005年6月

第17号

英文科の秋月先生が「ありえない日本語」(筑摩新書)を出版されました。そこで3人の学生会の方々にインタビューをしていただきました。以下はその一部です。



インタビューアー： 佐藤司(人間心理3年)さん、川越慎也(同)さん、館田和也(同)さん

—まずこの本を出版することになったきっかけについて教えてください。

秋月： この本は、90年代後半から、私のホームページ上で公開していたことを元に、改めて本にするにあたって書き直したものです。出版社の人が、私のホームページに興味をもって、「本にしませんか」というメールをくれたことがきっかけです。その人はすぐに仙台に来てくれて、話はあっという間に進みました。今まで、言語学でマンガを扱ったものはあまりなかったと思うし。

—そうですね。言語学とマンガのコラボレーションというのはどうなんですか。

秋月： 言語学に限らず、学問の世界では、まだマンガを扱うことは異端だと思います。ただ、私は、ずっとマンガに親しんできたし、また、実際に、卒業研究のテーマでマンガを題材にする学生も少なくないのが現状だから、言語学でマンガを扱うというのも、どんどん増えていくんじゃないかなあ。

—本を出版して、周囲の反応はどうですか。

秋月： まずは、図書館長の松田先生が、出版記念のパーティを開いてくれたことにお礼をいっておかないと。ありがとうございました(笑)。買ってくれた学生のみなさんや教職員の方々も、ありがとうございました。実は、昨年末あたりから出版界で日本語本ブームというのが起こっているらしくて、日本語を扱った本がたくさん出ていますが、これに便乗させていただきました(笑)。ただ、題名にだまされて買った人もいるみたいだけど。

—その『ありえない日本語』というタイトルはどのようにして決まったのですか。

秋月： これは、私が、序章で「ありえない」という表現を扱っているんで、なんとなく、それをとって、出版社の人に「『ありえない日本語』でいいんじゃないですか」とって、半分冗談のつもりで言ったら、それが採用されてしまいました(笑)。ただ、このタイトルから「ありえない日本語を正す」本だと思って買う人がいる。まあ、そういう人は読んでがっかりするみたいです(笑)。

—では最後に、図書館と本について一言お願いします。

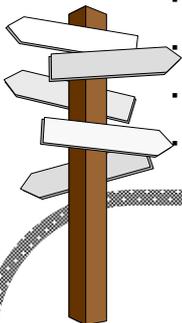
秋月： 私の場合、読みたい本は、本屋で買います。こんなことは、図書館長の前では言いにくいですが(笑)。私の場合、本にすぐ線を引いたり書き込みをしてしまうので、どうしても見つからない場合に図書館に行きます。ただ、学生の場合は、金銭的な事情もあるので、図書館は多めに利用すると思います。ただ、私みたいに、線を引いたりする人はコピーをとりましょう(笑)。

秋月先生が薦める本 5冊

- 鈴木孝夫『ことばと文化』岩波書店： 私は、大学2年のときに、これを読んで言語学を始めました。
- スティーブン・ピンカー『言語を生み出す本能』NHK出版： ピンカーの本はどれもおもしろいけど、まずはこれから。
- ロビン・ダンバー『言語の起源』青土社： 考古学、動物行動学、認知科学等の現代科学の成果を駆使して言語の起源に迫っていくプロセスに引き込まれる。
- ニール・スミス『ことばから心を見る』岩波書店： 言語学が心理学の一分野であることがよくわかる。
- ジェニー・トマス『語用論入門』研究社出版： 語用論の入門書は他の言語学の分野に比べて少ないのが現状。今のところこれがbetterかな。

2005年度第1回選定委員会で購入が決まった図書の中から部門毎にランダムに何冊か紹介します。
早ければ6月第3週ぐらいには新着棚に並びます。

- ・ 大学生の情報活用技術 (森際孝司 著・ ムイスリ出版 2005年刊)
- ・ 情報の広域伝達を考える (松浦健三 著・ 創林社 2005年刊)
- ・ 日本人の「心」と心理学の問題 (山下恒男 著・ 現代書館 2004年刊)
- ・ 英語聖書の歴史を知る事典 (アクレ・ギルモア 著・ 教文館 2002年刊)
- ・ スーパービジュアル版 早わかり世界史 (宮崎正勝 著・ 日本実業出版 2005年刊)
- ・ 日本地名よみかた辞典 (共立文化社 2003年刊)
- ・ シチズン リテラシー (鈴木崇弘 著・ 教育出版 2005年刊)
- ・ インターネット法情報ガイド (指宿信 著・ 日本評論社 2005年刊)
- ・ からだ探検 (ケイト・スウィーニー 著・ アプライ 2004年刊)
- ・ エモーショナル ブレイン (ジョセフ・E・レ・ドゥー 著・ 東京大学出版会 2003年刊)
- ・ 新広告論 (亀井昭宏 著・ 日経広告研究所 2005年刊)
- ・ 観光事業論講義 (くんぷる 2000年刊)
- ・ 色彩学の実践 (渡辺安人 著・ 学芸出版 2005年刊)
- ・ 映画の文法 (今泉容子 著・ 彩流社 2004年刊)
- ・ ことばの習得と喪失 (伊藤克敏 著・ 勁草書房 2005年刊)
- ・ 大学生のための日本語表現実践ノート (米田明美 著・ 風間書房 2005年刊)
- ・ 小説の面白さ(ロマネスク)と言語 (中山真彦 著・ 新曜社 2004年刊)
- ・ 英文学と英語学の世界 (橋本 著・お茶の水書房 2003年刊)



図書館からの重要なお知らせ

- その1 開館時間が午後5時から7時に延長されました。(2005年4月より)
- その2 雑誌の貸出冊数は3冊、3日間となりました。(2005年4月より)
- その3 学生証にライブラリーポイントを付けて利用証を発行します。
- その4 学外実習へ行く学生のために特別貸出があります。
(通常貸出の他に5冊)
- その5 希望図書箱を利用する事を推奨します。レポートに、卒論に必要な学術的な図書は全てはいります。
- その6 レファレンス・サービスを活用することを推奨します。
回答ではなく行程を共に探索します。
- その7 文献複写サービスを活用することを推奨します。本学所蔵は勿論、他大学図書館の所蔵もチェックして提供します。(但し、有料)
- その8 貸出中の図書に予約がかけられます。

